柳原地区住民自治協議会だより

やなぎはら（すきです）

2021 Dec.15

vol.51

みんなで参加、地域づくり

大人も子どももみんな楽しく

発行　柳原地区住民自治協議会

防災

＜災害福祉カンタンマップの運用実験＞

9月5日、地震を想定し、柳原地区総合防災訓練を実施しました。

本部　区で入力した情報を投影

区の本部　タブレットに安否情報を入力

情報伝達・避難・安否確認の訓練を実施。避難行動要支援者の安否を長野県社協が進める「災害福祉カンタンマップ」データ入力することが主な訓練でした。隣組、常会から寄せられた情報をタブレットに入力しました。「災害福祉カンタンマップ」は、まだ、実証実験段階ということで、端末に入力する段階で苦戦する場面が見られ、今後の課題も見えました。

防災訓練は、地震・台風・洪水などを想定して実施しますが、地域のことや近隣にどんな人が暮らしているのかを知る機会にもなります。それがいざという時の行動の助けになると思います。みなさん積極的に訓練に参加しましょう。

隣組に安全確認を担当する班長がいる布野区の様子

平成29年から取り組んできた「班ごとマップ」は、災害時の隣近所の助け合いについて考えるものです。昨年度からは、避難に支援が必要な方について家族・近所・地域だけでなく、事業所もいっしょになって考える「災害福祉カンタンマップ」の取組みを始めています。

昨年の3回の研修に続き、6月12日には、事業所〈富竹の里〉も参加して「優先度を踏まえた個別避難計画」を含めた研修を実施しました。区ごとに避難情報の伝達方法・安否確認の方法とまとめ方などを話し合いました。災害時には特に、常会・隣組など小さな単位での支援体制・共助が大切になります。また、各自の備えも大切です。

安全・防災マップ

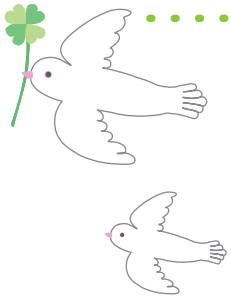
ハザードマップと照らし合わせ、自宅や避難ルートなどの情報を記入してみましょう。指定された洪水・浸水時の避難場所は、柳原には、ありません。どこにいつ避難するかを考えていく必要があります。

やなぎくん安心キット

ピンク色のふたの容器が配られます。中には、〈わたしの避難計画〉〈わたしの緊急安心カード〉を入れておきます。緊急安心カードは、自分の健康状態などを記入しておきます。薬を飲んでいる方は、薬局で出される薬剤情報をいっしょに保管しましょう。災害時、救急搬送の場合に救急隊や医師に自身の情報を伝えることができます。玄関先などに置いておきましょう。

安全・防災マップ
やなぎくん安心キット

戦没者追悼式



先の苛烈を極めた大戦から七十六年が経過し、十一月三日（水）、中俣忠魂碑前において遺族会と柳原地区区長会共催による、戦没者追悼式が厳かに開催されました。本年はコロナ禍を踏まえ、参列者を限定しての式典となり、黙とうに続き、遺族会長の式辞、区長会長の追悼のことばのあと、参列者全員による献花が行われました。今日、私たちが享受している平和と繁栄は、尊い九十五柱の犠牲の上に築かれたものであることを忘れてはなりません。私たちは、恒久平和に向け、戦争の惨禍を再び繰り返さない決然たる誓いを貫いていくことが、戦没者の御霊に応える唯一の道であると確信いたします。

柳原まるごとマッププロジェクト

柳原まるごとマップとは、地域のいろいろな情報を地図（WEB）に記録するという構想です。防災に関する情報や柳原の遺跡などを地図にマークし、クリックすると詳しい情報を見ることができるというものです。つまり、自分たちの住む柳原のアレコレをデータにして保存し、必要に応じ取り出して利用するということです。今後、SNSが地域活動においてもさらに重要な要素となることから、ホームページも含めて地域情報を集めていきます。WEB上での管理は、更新や新たな情報の掲載がしやすいなどの利点があります。

初めての取組みであり、みなさんの参加により、充実させていきたいと考えています。自分たちで地元のことを調べる「やなぎはら探検隊」の活動は、まさにまるごとマップの根幹になるのではないかと。

あなたは、どんな情報を求めていますか？いっしょにマップづくりをしてみませんか？

歴史講座

平成30年から2年続けて開催してきた井原先生の講演会は、「解りやすくて、たのしい。まだまだ聴きたい！」という感想が多く、昨年も企画しましたが、コロナ禍で開催できませんでした。

千曲川の渡しと善光寺を結ぶ中道、川の恵である鮭。柳原は、時の権力者にとって魅力的な土地で栄えていたこと。年貢として納めた細美布（さよみふ）〈苧麻（ちょま）を原料とする布〉は、当時の貴族に珍重されていたこと。細美布を換金して420貫文（4200万円）を毎年、九州へ納めていたそうです。柳原の地で、苧麻を栽培し、糸にして、織っていたという人たちに思いを馳せ、90分はあっという間で、もっと聞きたいと思うワクワクする話でした。

私は、塔鋺形合子（とうまりがたごうす）の出土と10周年記念事業「煌めく柳原の古代文化」に携わったことで、柳原地区の歴史に興味を持つようになりました。みなさんも自分の住む柳原地区の歴史を知ることで、地元愛も生まれるのではないでしょうか？

熱気あふれる会場、
熱心に話をきく受講者のみなさん

やなぎはら探検隊

あなたの知っている柳原について教えてください。以前に池の話や昭和時代の国道沿いの商店や役場・郵便局などの話をしていただきました。

昭和50年の住宅地図も見つかりました。それをもとにして、昔の街並みをジオラマとかで再現できたらいいなぁ。

地区内の石造文化財を探索する活動も始まりました。あなたも知らない柳原がまだまだいっぱいありそうです。

健康教室

長沼ウオーク

好天に恵まれた6月16日朝9時に参加者約18名が市民センターを出発し、長沼用水沿いに北上しながら長沼神社を目指して歩きました。

折しも前週、柳原体育館において「歩き方教室」を、長野市保健所理学療法士の池田あゆみさんを講師に迎え、インターバル速歩的な歩き方を教えていただき、「手は前より後ろへ引き上げて振る」「途中速く、またゆっくり歩く」などを実践しながら往復約5kmを無事に歩きました。

めざせ善光寺

きれいな紅葉にしばし見とれる　美和神社

11月6日、柳原駅発9時30分の電車に乗り本郷駅で下車し、「美和神社」で行程を説明し、線路沿いを歩きながら横山、善光寺下、岩石町をぬけて「西宮神社」でお参りし、大門から善光寺本堂へ歩きました。

本堂東側公園では「菊花展」が開催されており、暖かな小春日和の中、善光寺周辺を探索しました。

現地で解散したので帰りは自由でしたが、電車で帰る人・家族に迎えに来てもらう人、中には柳原まで歩いて帰った人もおりました。

みんな集まれ！ウオーク

この年代が企画・実施する「65歳みんな集まれ」では、昨年は、区界ウオークと題して地区内を歩きました。今年は、用水（養水）に着目しました。

10月24日に、北八幡川の一部を歩きました。出発前に江戸時代に治水のために何本にも枝分かれして善光寺平を東に流れていた裾花川の流れを南に変えて犀川に注ぐようにし、水田耕作のために裾花川から取水する八幡川などの用水路が整備されてきたとの説明を聞きました。

村山堰小田元
（小島と中俣の区境）

歩きながら北八幡川から分かれる白山堰・長沼用水・村山堰などが柳原地区の稲作を支えていることを確認しました。

小島区　十二水門

富士通近くの十二水門では、大雨で増水した時に小島区の役員さんが水位を調整する話を聞き、北長池の炭平近くの柳原暗渠バイパス排水路分水工では増水した水を自動で南八幡川（柳原導水路）に流す仕組みを見ました。長野市の洪水対策は、南八幡川に水を集めて、布野の柳原排水機場を通して千曲川に出すことを主とする方針のようです。

3月は、柳原排水機場を中心に地区内を歩く予定です。多くのみなさんの参加を待っています。

「人生100年時代」といわれている。そんな時代に〈高齢者〉とくくられることへの抵抗感もあるが、さりとて若いころとはチョット違うぞと感じ始めている65歳。

昭和31年、32年、33年生まれの方、何を企画しますか？

秋のクリーンデー

柳原総合市民センター外周の低木の剪定を中心に行う美化活動です。北側のT字路交差点付近は、伸びた枝で視界が悪く横断歩道を渡る歩行者の発見が遅れる状態でしたがしっかりと刈り込み、北側道路の歩道の除草も行いました。

また、柳原小学校南スクランブル交差点にある、ポケットパークの整備を今年も須坂創成高校造園クラブの生徒さんに協力いただき、樹木の剪定や花苗の植込みなど来春に備えました。ビオラと葉ボタンは、健康・福祉部会の〈居場所づくり〉として種を蒔くところから挑戦しました。

あやめまつり

柳原地区住民自治協議会は、平成20年5月24日に設立され、平成30年5月に10周年記念事業として「柳原まつり」を開催しました。以後、5月アヤメの花が咲く時季であることから「あやめまつり」として継承しています。

今年は、コロナ禍で活動が制限される中ではありましたが、長野県立歴史館名誉学芸員の山浦直人さんを講師に、『地図絵図が伝える歴史災害～善光寺地震と千曲川の水害～』と題し防災講演会を開催しました。地震により山津波が起き、大きな被害の様子を古地図や絵からわかりやすく解説していただきました。

アヤメの花を見つけたら印をつけてね

また、来場者がアヤメの花が咲いている場所やおすすめスポットを地図に記入する【アヤメの花探しマップ】に取り組みました。これからも、柳原の人たちがたくさん集まる場として「あやめまつり」が定着していくことを願っています。

活動の見直し

柳原地区では、毎年10月に運動会を開催してきましたがコロナ禍により2年連続で中止となりました。これを機会に、柳原地区住民自治協議会では、運動会の開催について見直しが行われています。

運動会は、地区住民の交流と親睦を図るために開催されてきましたが、高齢化が進む柳原団地区をはじめ、選手の選出が困難になっている地区が複数あります。

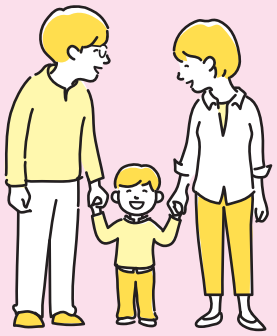
そこで、教育・環境部会を中心に、廃止を含めて運動会の在り方について検討を進めています。

その中では、①子どもから高齢者までが参加できる輪投げなどのゲームを楽しめる機会としてはどうか②体力測定など健康に関する興味や関心を持つ機会としてはどうか等の意見が挙がっています。

地域の皆さんも、この機会に、運動会について、アイデアやご意見を公民館役員や事務局までどんどんお寄せください。

出されたアイデアの一部を、来年5月14日（土）開催予定のあやめまつりで、試験的に実施してみる計画です。

子供を取り巻く現状を学ぶ



長野の子ども白書事務局代表、小林啓子さんを講師に招き、子どもの権利についてお話を聴きました。

今、学校では「生徒の均一化」を進め、「個性を伸ばす」より「扱いやすい生徒」を多くするのが現状であり、学力不振などから不登校が生まれ、逆に特性の強い子、浮きこぼれの子などがいるそうです。

家庭では、子どもの人権を否定するようなしつけや体罰、親がゲームの依存症で養育放棄などもあり、長野県は全国的に見ても子供の自殺が多いそうです。

地域において子どもを見守るには「まず大人同士のつながりが大切」という事でした。

中俣区「マメで百までプロジェクト」

枝豆を移植する子どもたち
「自分で食べるものを育てる」

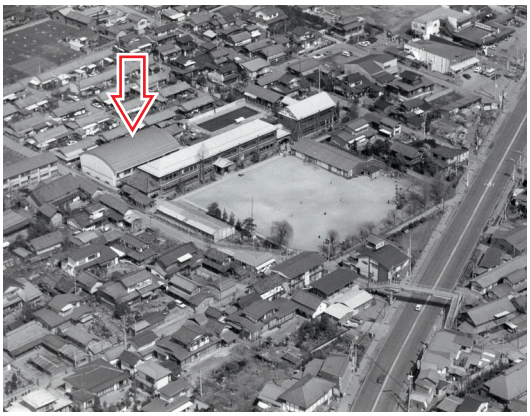
「マメで百までプロジェクト」は、5月より活動を開始しました。プロジェクト名の由来でもある枝豆（マメ）を、育成会の子供達に育苗ポットで芽出しをしてもらい、畑に移植しました。8月に収穫した枝豆は、とても美味しいと好評でした。

コロナ禍のため、持帰りとしましたが、ビール片手にみんなで食べたかった。

その後、地元企業の美包様より種の提供を頂いて秋そばを栽培しました。誰も栽培した経験が無く、わからないことの連続でしたが、無事に収穫まで辿り着きました。

11月20日に中俣北公民館において、長野吉田高校戸隠分校そば部の皆さんによるそば打ちの実演会を開催しました。

写真に見る柳原の今昔



昭和49 年柳原小学校(開校101 年目)
現在の児童センターのあたりに体育館が見える(矢印)

昭和44 年2 月8 日柳原小学校体育館竣工
柳原小学校は、明治42年に西囲(中俣)に新校舎が建てられ、昭和52年に校舎を現在地(小島)に移転した。この体育館は、その後、社会体育館として長く活用された。

●ぜひご参加ください

オレンジカフェがなかなか再開できませんが、新たに子どもから大人までどなたでも自由に集える場を持ちたいと思って…、松ぼっくりのツリー・リース・栞・折り紙など手を動かしながら楽しく交流しませんか！

出来上がった作品は持ち帰ってお家でお楽しみ下さい。

これからも随時開催していきます。お出かけ下さい。

●見に来ませんか？　やなぎくん

市民センターにほんのちょこっとのライトアップ。次のシーズン、あなたもいっしょに飾り付けしませんか？

内科・呼吸器科・アレルギー科
中　島　医　院
柳原 2222-6　TEL295-0600

「あたたかい心、やさしい手」「24時間、365日」安心をサポートします。
ケアライフ柳原第２（介護付き有料老人ホーム）
長野市柳原2223番地1　TEL026-255-7716
ケアライフ柳原（介護付き有料老人ホーム）
長野市小島785番地　TEL026-236-8200
お気軽にお問い合わせ下さい
エフピー介護サービス株式会社

車いすの貸出

柳原にお住まいの方、
どなたでも無料で利用できます。

・貸し出し期間は２週間(特別な場合は４週間まで)
・返却の際は、汚れを落としてからお返し下さい。
・返却時、修理が必要な場合は、申し出て下さい。

にいざわ皮ふ科
長野市柳原2221-6
TEL.026-255-7238/FAX.026-255-7335

編集後記

あなたの好きなこと、やりたいことは何ですか？「この指とまれ」と人差し指を掲げて誰かといっしょに何かを始めてみませんか？　あ

柳原地区住民自治協議会
長野市小島 804-5　柳原総合市民センター内　TEL・FAX217-2365
いきいき　わがまち　やなぎはら　検索
E-mail：yanagihara-jiti2365@drive.ocn.ne.jp
お気軽にお立ち寄りください。